

定評について

著者	小倉 金之助
URL	http://id.nii.ac.jp/1275/00002695/

空際
 まゝに
 考へゝみるゝ
 すゝのは、

嚴密
森仁

するは、
るてい、
ある、

書物

評價

三
五

一般

主
目
標

て
と
し
た
場
合

新南

、
場合
の
外
は
、
お

2
7
4
7
4
2
2
3
0

A blank, lined page from a notebook. The page is cream-colored with horizontal blue ruling lines. A vertical blue margin line is on the left side. There are some faint, illegible blue ink marks and smudges on the page, particularly near the top and bottom edges.

永
の
尚
の
怪
驗

私
は
~~あ~~
い

ゆる定評なぞという

の
か、い
あ
きり
言

用の出来ないものだと思っ
ている

の書いた書物の中で、

何れもよく売れたものといえは

短
日
月
の
間
に
書
き

けた本は、もうで、ある。私の

世は苦心したものの像

妙
壺
小
行
手
心
惡
心

永
5
100

欧米諸国に限らずわが国でも、~~でも~~
~~まじり~~ ~~科学史~~ ~~でも~~ 専門科学史の方面では、
~~かなり詳しい~~ ~~年表~~ ~~が~~ ~~な~~ ~~り~~ ~~詳~~ ~~しい~~、~~方~~ ~~い~~ ~~は~~ ~~た~~ ~~年~~ ~~表~~
~~が~~ ~~特~~ ~~殊~~ ~~な~~ ~~か~~ ~~依~~ ~~り~~ ~~よ~~ ~~り~~ ~~作~~ ~~ら~~ ~~れ~~ ~~て~~ ~~い~~ ~~た~~、~~し~~ ~~か~~ ~~し~~

特殊 ~~研究~~ 資料家史実の單なる寄せ集め
ではない、分析。社会文化との関連の如く、
更に総合的な科学史と表と呼ぶに値す
る。これは、本書の現はわまい。 ~~それと~~ ^{(15)に} ~~な~~ ^な ~~か~~ ^か ~~つ~~ ^つ ~~た~~ ^た
といつてよい。 ¹⁵⁵ 本書の中々、分明

いふうううと出すつうなり、
 びも 挙げ、
 は 随分 相執を年表にあらわすなり、

しかし今日の——むせりり事いれは「ありてを、
世界にたいし——我々史研究の現状、~~それは~~

以上のとおり、あまの 厳密な完全性を維持する方が、無毛でい
 う表の上、あ ~~い~~ 定 する、うは、あ う

「我々および技術者、全産業を、その母胎たる
社会の発展的構造の中とらえ、総合的かつ
体系的に全世代」しようと述べている、著者の
野心的な取り組みは、とにかく一歩の成功をお
いている。

かよふを^点~~き~~てい●~~き~~き^{り、向う}若^閉によう

本書、比較的早いところから表が、果に

私は ~~この本を~~ 本書を以て 世界的な業績と
評価したいと思ふ。 (一つ)

新

評論と書評との関係は、
あまり隔隔をもち、あつちをもちあふ

いふ減でさうの
批評は無用である、

いつたん評價をゆみる
以上。
ほんとうん

である。
批判こそ望ましいし、
読者もまたそ
くらしいの覚悟
で、書物に對するべきである。

それはいゆゑ、定評を要するやうな、正し

綜合的圖、体系的生物年表(2)

努力は、野心的 は ~~は~~
 といふ、一つの戒印をおさめよう。 ~~は~~

意味い

專的 特性種の 史定 寄本 集め
技術・社会文化との関連のもと、 総合的な
体系の 科学史 表

とういつた
 意味では、
 世界的な
 文藝とい
 ふといふ

本書の中かゝ

(PT₁₀ と 431)

あけのつもうた

それはいくさでも争はばいよ